



黒沢一成議員

所信表明

図書館に郷土資料館の併設

委員会を立ち上げ検討

質問 旧県立山田病院へ図書館の移転整備を目指しているようだが、津波防災の啓発のため、津波被害に関する展示も入れて、子供達がいっしょに見学できる郷土資料館を併設しては。

松尾教育長 県医療局との協議が整い次第、外部委員などの活用検討委員会を立ち上げる。郷土資料館の併設についても、懸案事項となっているので検討をお願いしたい。

質問 公務員給与は、平均4・8%を引き下げる改革の途中であるが、中高年層

は地域の実態に比べまだ高すぎる。特別職報酬をさらに削減すれば一般職の給与引き下げも可能性が出てくる。削減分を町民のための施策に回しては。

沼崎町長 特別職報酬は、平成16年1月から19年3月まで1年ごとの条例で減額してきたが、特別職報酬等審議会の答申を受け昨年の3月定例会で改定し現在の額となった。見直しは考えていない。

一般職の給与については、今後とも人事院勧告を尊重していく。

福祉行政

介護施設が不足では 整備には保険料増額伴う

質問 介護をするため働きに出ることができず、その間、収入を得ることができなくて困っている方もいるようだ。施設の入所待機者の状況は。また、緊急を要する方の状況は。

沼崎町長 3月末現在で、介護老人福祉施設68人、介護老人保健施設11人、計79人。緊急度の定義は難しいが、福祉施設入所希望者で介護度4、5の方は37人で、うち同居者なし及び入院中の方は23人であることから、現在のところ施設の不足分

は20人程度と考える。
質問 今後ますます高齢化が進み要介護者は増える。家族が家庭で面倒をみるのが基本であるが、今の社会情勢では施設が今以上に必要となる。見直しは。
沼崎町長 介護保険料との兼ね合いもあり大型施設建設は難しい。
認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護の整備を検討していく。

町の考えを聞く



小規模多機能型居宅介護事業所は「通い・泊まり・訪問」を組み合わせ利用できます（船越地区にできた「やすらぎ」）